学　び　舎（まなびや）

～清和台南小学校　学校通信　第5号～

平成29年10月６日

輝く笑顔を最後まで、心を一つに突っ走れ
～第41回　運動会～

９月30日（土）、晴れやかな空の下、本校第41回運動会が開催されました。今年は９月末開催ということで、例年より長い期間運動会練習に取り組むことができました。その間、みなさんは集中力を切らすことなく、ねばり強く熱心に練習に取り組んできました。先生たちもみなさんの体調に気をつけながら、いろいろ工夫し、より良いものをつくろうとがんばってきました。そうした努力と熱意があったからこそ、当日の演技・競技は見ている多くの方々の心に印象に残るものになりました。

表現演技のトップバッターは、３・４年生の「Let’ｓ go☆PARTY!!」でした。低・中・高学年の三つのブロックの中で一番たくさんの人数での演技でしたが、豊富な練習量と持ち前のパワーを発揮し、個々のダンスの切れ味が鋭いうえに隊形移動もスピーディで、ノリノリの演技となりました。

１・２年生の表現種目は「やってみよう！　１１１（ワンワンワン）ダフル！」。最初は広いグラウンドの中で、自分の立ち位置もなかなかわからなかった児童も多かったのですが、練習が進むにつれ全体の動きもスムーズにできるようになりました。何より一人一人の子どもたちがリズムに乗りながら、本当に楽しそうにダンスをしているのを見ていると、見ているこちら側も楽しくなってくるような、そんな演技でした。

そして、午前の最後の部を飾ったのが、５・６年生の「～君とともに～」です。昨年度の成果と課題を踏まえ、清和台南小学校の新しい伝統を創ろうと、教職員で協議し知恵を絞って創り出した演技でした。子どもたちもその気概に応えるように、初日から圧倒的な集中力で練習に臨んできました。

本番はそうした努力と協力が自信となって裏打ちされた見事な演技でした。個々の演技から集団での美しさを表現した前半、早いテンポと鋭い動きでリズミカルなダンスを披露した中盤、そして切れ味鋭い音が鳴り響くとともに集団行動を思わせる複雑な隊形移動を見せた後半…、高学年としての子どもたちのプライドが伝わってきた演技でした。

ねばり強い取り組みがあってこそ

今年の運動会を通して特に印象に残ったのが、運動会の練習におけるみなさん一人一人の真剣でねばり強い取り組みと、集団で助け合い協力し合う姿です。普通の運動会練習では始まった最初の時期や演技が出来上がりかけた途中などでどうしても気持ちの緩む時が出てしまうものです。しかし、今回の運動会では練習の最初から最後まで気が緩むことなく、本当に真剣な気持ちでみなさんは取り組んでいました。これは本当に大切なことだと思います。

いろいろな行事で本番に力を発揮することは大切なことですが、毎日みんなと協力しながらコツコツ努力することはもっと大切なことです。なぜなら、毎日の練習には根気やねばり強さが必要だからです。人が見ていなくても、自分たちでこつこつ努力する、そんな取り組みのできる清和台南小学校のみなさんを私達は誇りに思っています。

10月からの学校生活では、そのことを忘れず落ち着いて学習に取り組んでほしいと思います。

運動する習慣を身につけよう
～PTA運動会参加賞～

この運動会では例年PTAから子どもたちに参加賞が配布されていました。今年度は学校の方からお願いして、子どもたちがより運動に親しめるようにと、各学年にソフトバレーボールを、そしてミニサッカーゴール、それと新しい学習指導要領に取り入れられるタグラグビーのベルトを寄贈していただきました。また、雨の日にも楽しく過ごせるよう、トランプやウノも併せて寄贈いただきました。PTA会員の皆様、本当にありがとうございました。

児童のみなさん、感謝の気持ちを忘れず大切に使ってくださいね。